

「第 36 回岩盤力学に関するシンポジウム」プログラム

岩盤力学委員会では、岩盤工学および岩盤力学に関する最新の調査研究、技術の成果発表の場を広く提供するため、「岩盤力学に関するシンポジウム」を開催しております。また、岩の力学連合会が企画する特別講演会(Jaedong Kim 教授, Kangwon National University)および懇親会を同連合会と合同で主催いたします。

下記の要領で「第 36 回岩盤力学に関するシンポジウム」を開催いたしますので、各界の技術者、研究者、学生などの多数の参加をお願いいたします。

1. シンポジウム案内

主催	土木学会(担当:岩盤力学委員会)
共催	岩の力学連合会, 資源・素材学会, 地盤工学会, 日本材料学会
期日	2007 年 1 月 11 日(木), 12 日(金)
場所	土木学会「土木会館」2 階 講堂, 会議室
論文集	CD-ROM 版講演論文集(参加費に含む)
参加費	当日申込:一般 8,000 円, 学生 3,000 円(事前申込(~2006/11/30):一般 6,000 円, 学生 2,000 円)
講演要領	口頭発表およびポスター発表の講演要領は、「7. 一般セッション講演要領」をご覧ください。
表彰制度	<p>表彰対象 :シンポジウムに提出されたすべての論文</p> <p>賞の種類 :優秀講演論文賞・・・提出された原稿と発表の内容が非常に優れているもの。 優秀ポスター賞・・・ポスターと講演内容が優れたもの(ただし, 提出された原稿が一定のレベルを満たしているもの)。</p> <p>#優秀ポスター賞の選考には参加者の声 that 反映されます。受付にて投票用紙を配布いたしますので, 優れたポスター発表をご記入の上, 受付に設置された投票箱に入れてください。</p> <p>表彰式 :シンポジウムの閉会式(1 月 12 日 17:00~17:15)</p> <p>賞品 :楯, 賞状</p> <p>表彰制度の詳細は、「8. 表彰制度」をご覧ください。</p>
問合せ先	土木学会研究事業課 岡部 俊子宛 TEL:03-3355-3559/FAX:03-5379-0125/E-mail:oka@jsce.or.jp

2. 全体スケジュール

2006/1/11(木)

会場	9:20-9:30	9:30-11:30	12:30-14:00	15:00-17:00	17:00-18:00	18:00-20:00
第1会場 (講堂)	開会挨拶*	トンネル・地下空洞 1	パネル ディスカッション①	トンネル・地下空洞 2	特別講演会 【主催】 岩の力学連合会 土木学会	懇親会 【主催】 岩の力学連合会 土木学会
第2会場 (AB 会議室)		斜面および斜面災害 1		斜面および斜面災害 2		
第3会場 (CD 会議室)		資源開発		室内試験		
第4会場 (EF 会議室)		ポスター(コアタイム 14:00-15:00)				

* 開会挨拶: 西脇 芳文(岩盤力学委員会 委員長)

2006/1/12(金)

会場		9:30-11:30	12:30-14:00	15:00-17:00	17:00-17:15
第1会場 (講堂)		トンネル・地下空洞 3	パネル ディスカッション②	トンネル・地下空洞 4	表彰式** 閉会挨拶***
第2会場 (AB 会議室)		放射性廃棄物地層処分 1		放射性廃棄物地層処分 2	
第3会場 (CD 会議室)		断層・亀裂		原位置試験	
第4会場 (EF 会議室)		ポスター(コアタイム 14:00-15:00)			

** 表彰式: 西脇 芳文(岩盤力学委員会 委員長)

*** 閉会挨拶: 清水 則一(岩盤力学委員会 副委員長)

3. パネルディスカッション

(1) パネルディスカッション①(1月11日 12:30~14:00/会場:第1会場(講堂))

テーマ	「リニアコライダープロジェクトの現状と土木技術」
担当	リニアコライダー土木技術研究小委員会
司会	近久 博志 (山口大学)
パネラー	榎本 収志 (高エネルギー加速器研究機構) 清水 則一 (山口大学) 大津 宏康 (京都大学) 市川 康明 (名古屋大学) 芥川 真一 (神戸大学) 佐野 信夫 (中日本高速道路(株)) 清木 隆文 (宇都宮大学)
内容	リニアコライダー土木技術研究小委員会では、国際リニアコライダーの技術課題を検討している国際設計チーム (GDE) での活動を視野に入れながら、平成 18 年 4 月から、本施設を日本誘致する場合の技術的な課題を検討して、可能性のある対応策を整理検討している。平成 18 年 11 月には、GDE の活動も概略設計から実施設計に移る重要な段階に入り、これに連動して、各国の誘致活動が激しくなってきた。そして、わが国でも、平成 18 年 6 月 15 日に、「リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟 (会長：与謝野前金融相)」が発足され、国政レベルでの積極的な誘致活動も開始され始めている。この時期を捉えて、今回のパネルディスカッションでは、GDE の活動を含めたプロジェクトの最近の動きとこれに並行して進めている研究小委員会の活動の中間報告と今後の方向性について討論を行う。

(2) パネルディスカッション②(1月12日 12:30~14:00/会場:第1会場(講堂))

テーマ	「岩盤構造物の創造・保生におけるリスクマネジメント」
担当	岩盤構造物の創造・保生に関するマネジメント研究小委員会
司会	大津宏康 (京都大学)
パネラー	亀村 勝美 (大成建設) 峯 敏雄 (電源開発) 中村 一樹 (応用地質)
内容	高度経済成長期において社会基盤整備において多大な貢献をしてきた岩盤力学も今や、これまでの「足らざるものを建設する」技術から、「質の高い社会基盤構造物を合理的に創造・保生する」技術へのパラダイムシフトが求められている。このような課題に対処するために、従来型の力学に関する要素技術に加えて、いわゆる社会経済学等の学際的知識に基づくマネジメント技術を備える必要がある。しかし、我が国の建設分野は要素技術としては世界でトップクラスにあるにもかかわらず、上述のマネジメント技術の欠如のより、国際競争力に乏しい状況にある。このような観点から、本討論会では、①地下岩盤工事における建設コスト変動リスクとは何か？その評価手法は？②岩盤構造物のアセットマネジメントとは何か？について最新の話題を提供する。そして討論会参加者と共に岩盤力学に関わる技術者に求められるエンジニアリングエコノミー感覚とは何なのかについて討論する。

4. 特別講演会(1月11日 17:00~18:00/会場:第1会場(講堂))

主催	岩の力学連合会, 土木学会
講師	Jaedong Kim, Prof. Ph.D. (Kangwon National University)
テーマ	System development for analysis of rock joint structure using multistage convergence photographing technique
参加費	無料

5. 懇親会(1月11日 18:00~20:00/会場:第1会場(講堂))

主催	岩の力学連合会, 土木学会
場所	第1会場 (講堂)
参加費	1,000 円 (参加自由。シンポジウム開催当日会場にて受付け、お支払いいただきます。)
	【ビール片手に議論を！】 今年度は、懇親会 (1/11 18:00~20:00) の時間帯にもポスター会場をオープンすることにしました。ビール片手に活発な議論が交わされることを期待しています。

6. 一般セッションプログラム

(1) 口頭発表セッション

■『トンネル・地下空洞 1』/1月11日(木) 9:30~11:30/会場:第1会場(講堂)/司会:坂口 秀一(西松建設)

論文番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
1	○	大規模LPG岩盤タンクの3次元水理地質モデルの構築に関する研究 青木謙治, ○水戸義忠, 張傳聖, 宇野晴彦, 前島俊雄
2	○	TBM工法における統合地質評価システムの開発と適用 ○白鷺卓, 山本拓治, 村山稔, 福家佳則, 宮嶋保幸, 青木謙治
3	○	TBM掘削指数 (TEI) に基づく TBM 施工管理基準の提案 谷本親伯, ○津坂仁和, 山仲俊一朗, 中根達人, 平野實, 亀山克裕
4	○	低土盛り区間のトンネル掘削における微小電位観測を用いた地表面モニタリング ○村山秀幸, 伊藤由明, 鈴木信行, 伊東佳彦, 日下部祐基, 伊藤憲章
5	○	A GIS-based prediction method of 3D ground movements induced by underground mining sequence 江崎哲郎, ○Ibrahim DJAMALUDDIN, 三谷泰浩, 池見洋明

■『トンネル・地下空洞 2』/1月11日(木) 15:00~17:00/会場:第1会場(講堂)/司会:伊藤 成輝(ニュージエック)

論文番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
6	○	堆積軟岩の透水性を考慮した空洞安定性に関する解析的検討 ○岸田潔, 坂田知也, 富田敦紀, 細田尚, 足立紀尚
7	○	岩盤タンクの気密性評価における応力浸透流連成解析手法の適用性 青木謙治, 水戸義忠, ○田尾拓也, 張傳聖, 田坂嘉章, 前島俊雄
8	○	地山の時間依存性挙動を考慮した坑道掘削時の安定性解析 ○小川豊和, 青木智幸, 城まゆみ, 松井裕哉, 堀井秀之
9	OP	軟岩のクリープ変形挙動に着目したトンネル模型実験 関根裕治, 八代義信, 田坂嘉章, 黒瀬浩公, ○大森剛志, 亀谷裕志
10	○	琉球石灰岩内空洞モデルの破壊時の多重パラメータ応答 ○渡嘉敷直彦, アイダンオメル, 大洞光央, 赤木知之
11	○	個別要素法による大規模地下空洞の変形挙動特性の評価 ○山下裕司, 江藤芳武, 鶴田正治, 蔣宇静, 澤田昌孝
12	○	個別要素法による浅層トンネルの3次元掘削挙動解析 ○清水俊友, 楠見晴重

■『トンネル・地下空洞 3』/1月12日(金) 9:30~11:30/会場:第1会場(講堂)/司会:坂口 秀一(西松建設)

論文番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
13	○	数値解析に基づく切羽安定性の評価法の提案 ○大塚勇, 青木智幸, 大町達夫, 伊藤洋
15	○	若材齢の剛性変化を考慮したトンネル吹付けコンクリートの支保効果に関する検討 ○谷卓也, 小川豊和, 武田均, 青木智幸, 藤井義明
16	○	パイプルーフ工法の地表面沈下抑制効果に関する数値解析的解釈 ○千々和辰訓, 大谷達彦, 進士正人
17	○	TBM導坑先進掘削した大断面トンネルの力学挙動特性 奥隅豊栄, 大矢隆二, 木村厚之, ○上岡真也, 楠本太
18	○	超音波反射法によるロックボルトの充填性診断法に関する基礎的検討 森孝之, 中瀧誠門, ○筒井透
19	○	磁歪法を用いたPSアンカー軸力推定法による地下空洞の安定性評価 芥川真一, ○有村有紀, 中森絵美, 櫻井春輔, 馬場修二, 森聡

発表形式・・・○：口頭発表，P：ポスター発表，OP：口頭発表+ポスター発表

■『トンネル・地下空洞 4』/1月12日(金) 15:00~17:00/会場:第1会場(講堂)/司会:澤田昌孝(電力中央研究所)

論文番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
20	O	切羽観察に基づくき裂分布と許容変形量に関する研究 谷本親伯, ○津坂仁和, 青木俊彦, 紺野大輔
21	O	低土被り破砕質地山におけるトンネル補強対策と計測結果 ○伊藤由明, 郷康則, 荒井隆治, 村山秀幸
22	O	地山の長期安定性の評価結果に基づくインバートの施工について ○舛岡慶一
23	O	巨礫・岩盤層における密閉型推進工法事例ーφ1,650mm巨礫破砕型掘進機(リターン回収型)ー ○森田智, 松元文彦, 酒井栄治, 島田英樹, 笹岡孝司, 松井紀久男
24	O	飛騨トンネル本坑におけるTBMのディスクカッタの摩耗に関する研究 ○福井勝則, 大久保誠介, 森山守, 青木智幸, 小塚孝, 松原誠
25	O	水力発電所既設水圧鉄管の実測挙動に基づく岩盤変形特性の評価 西脇芳文, ○久保田克寿, 川島文治, 豊田紀孝
26	O	敦煌莫高窟と礫岩内部における水分供給に関する研究 ○谷本泰雄, 谷本親伯, 小泉圭吾, 舛屋直, 李最雄, 王旭東
27	O	3Dレーザースキャニングシステムを用いた中国敦煌莫高窟崖面の安定性評価 ○上野陽平, 谷本親伯, 小泉圭吾, 朴春澤, 岩田修一, Zuixiong LI

■『斜面および斜面災害 1』/1月11日(木) 9:30~11:30/会場:第2会場(AB会議室)/司会:石井 建樹(木更津高専)

論文番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
28	O	DDA落石シミュレーションに用いる速度エネルギー比の基礎的特性に関する研究 ○島内哲哉, 鄭惟, 中村公一, 西山哲, 大西有三
29	O	3次元軌跡解析結果を用いた落石遭遇確率の算定手順 ○西村 強, 橋本純成, 木山英郎
30	O	3次元個別要素法による落石シミュレーション ○市川卓也, 日下部祐基, 伊東佳彦, 中瀬仁, 足立正信
31	O	岩塊の接触形態を考慮した3次元個別要素法による岩盤斜面崩落シミュレーション ○山田正雄, 中川光雄, 鶴飼恵三
32	OP	不連続変形法の地震応答解析への適用に関する基礎的研究 ○赤尾悟史, 大西有三, 西山哲, 矢野隆夫, 浦野和彦, 西村毅
33	OP	岩盤斜面崩壊に起因する崩土到達範囲へのニューラルネットワーク適用に関する研究 ○金本岳人, 大西有三, 西山哲, 桑野健, 川北稔, 佐々木靖人
34	O	大変形・動的陽解法に基づく斜面崩壊・地すべりシミュレーションの適用 ○中川光雄, 山田正雄
35	O	3次元個別要素法による岩盤斜面の滑り崩壊シミュレーション解析 ○大槻敏, 楠見晴重, 松岡俊文

■『斜面および斜面災害 2』/1月11日(木) 15:00~17:00/会場:第2会場(AB会議室)/司会:多田 浩幸(清水建設)

論文番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
36	O	自然斜面における3方向の振動測定による浮石評価の試み ○中村真, 徳楠充宏, 武井義和, 澤田義博
37	OP	精密写真測量の斜面モニタリングへの応用について ○長野洋平, 大西有三, 西山哲, 村上治, 浜崎智洋, 天野浄行
38	O	地盤環境モニタリング用の無線センサーネットワークの試作と地下水計測への適用 ○池川洋二郎, 坊田信吾, 青木寛, 三木和秀
39	OP	デジタル画像計測の岩盤のり面変位計測への応用に関する研究 ○龍明治, 大西有三, 西山哲, 的羽正樹, 中川渉, 谷尚幸
40	O	拡散レーザ光線を用いた変位計の開発ー地盤伸縮計との比較実証実験ー ○納谷宏, 溝上雅宏, 浅利晋一郎, 増成友宏, 清水則一
41	O	地震に先行する電磁気異常現象に関する分析 ○辻本知範, 松永昌太, 福井勝則, 大久保誠介
42	O	遠心場振動破壊実験に用いる亀裂性岩盤斜面モデルの試作 ○石丸真, 河井正

発表形式・・・O：口頭発表，P：ポスター発表，OP：口頭発表＋ポスター発表

■『放射性廃棄物地層処分1』/1月12日(金) 9:30~11:30/会場:第2会場(AB会議室)/司会:田坂 嘉章(東電設計)

論文番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
43	○	AE計測とDEM解析に基づく堆積軟岩の破壊過程に関する研究 青木謙治, 水戸義忠, ○黒川進, 松井裕哉, 丹生屋純夫, 南将行
44	○	光ファイバ振動センサの高感度化と軟岩供試体破壊時のAE測定 森孝之, 岩野圭太, 中嶋誠門, 田仲正弘, ○菊山清児, 藤井宏和
45	○	空洞掘削後の岩盤内応力測定結果に基づく堆積軟岩空洞掘削時の破壊現象の一考察 ○富田敦紀, 戸井田克, 白鷺卓, 蛭名孝仁, 岸田潔, 足立紀尚
46	○	応力解放法測定結果に基づくわが国の地下深部岩盤応力状態の検討 ○長秋雄, 国松直, 金川忠, 藤井真希, 横山幸也, 小川浩司
47	○	塩水化学劣化作用による岩盤の損傷パラメータの変化 小林晃, ○山本清仁, 青山成康
48	○	高温下における堆積軟岩の原位置クリープ試験計画 ○高倉望, 岡田哲実, 谷和夫, 吉川和夫, 澤田昌孝, 竹田佳代

■『放射性廃棄物地層処分2』

1月12日(金) 15:00~17:00/会場:第2会場(AB会議室)/司会:林 為人(海洋研究開発機構)

論文番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
49	○	岩盤中の透水構造分布に着目した水理地質構造モデルの構築手法の検討 ○田中達也, 安藤賢一, 橋本秀爾, 三枝博光, 竹内真司, 天野健治
50	○	亀裂性岩盤におけるボーリング調査に基づく水理的有効間隙率の設定について ○澤田淳, 竹内真司, 三枝博光, 天野健治
51	○	塩水環境下における圧縮ベントナイト膨潤挙動のその場観測と膨潤性、透水性評価 ○鈴木寛, 高尾肇, 竹ヶ原竜大, 中島善人, 萩沼真之, 鈴木和則
52	○	圧力溶解現象を考慮した珪藻質岩石の透水性評価 ○安原英明, 操上広志, 木下尚樹, 岸田潔
53	○	孔間水理試験データを用いた地下水流動モデルのキャリブレーション ○熊本創, 下茂道人, 三枝博光, 尾上博則
54	○	幌延深地層研究計画における立坑掘削時の地下水からの脱ガスの予察解析 ○山本肇, 下茂道人, 國丸貴紀, 操上広志
55	○	粒状体個別要素法を用いた動的注入におけるグラウト充填機構の検討 青木謙治, 水戸義忠, 張傳聖, 藤原崇行, ○清水靖

■『資源開発』/1月11日(木) 9:30~11:30/会場:第3会場(CD会議室)/司会:岸田 潔(京都大学)

論文番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
56	OP	インドネシアの露天掘り石炭鉱山におけるスレーキング問題 ○大屋二郎, 笹岡孝司, 島田英樹, 一ノ瀬政友, 松井紀久男
57	○	CO ₂ ハイドレートの生成熱による海洋堆積層の加温に関する室内試験と解析による評価 ○池川洋二郎, 小早川博亮, 澤田昌孝
58	○	メタンハイドレート賦存層の力学特性の推定 羽藤正実, ○池田紘幸, 稲盛隆徳, 鈴木清史, 尾西恭亮, 松岡俊文
59	○	超臨界CO ₂ 圧入による岩石試料の比抵抗変化計測 ○尾西恭亮, 中塚善博, 山田泰広, 松岡俊文
60	○	珪質岩の力学的特性に及ぼす超臨界CO ₂ の影響評価に関する実験的研究 ○小玉齊明, 木山保, 薛自求, 熊倉聡, 西本壮志, 石島洋二

発表形式・・・○：口頭発表，P：ポスター発表，OP：口頭発表＋ポスター発表

■『室内試験』/1月11日(木) 15:00~17:00/会場:第3会場(CD会議室)/司会:中島 伸一郎(土木研究所)

論文番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
61	O	2種類の堆積岩の多段階クリープ試験による長期クリープ挙動の予測 ○羽柴公博, 松井裕哉, 瀬野康弘, 佐藤稔紀
62	O	堆積岩の乾燥変形過程と多孔質弾性論的解釈 ○長田昌彦, 山辺正
63	OP	弾性波分散現象を用いた岩石供試体の水理特性評価に関する研究 ○宮田愛由未, 大西有三, 西山哲, 矢野隆夫, 高橋学
64	O	有機系廃棄物の地盤注入を対象とした室内実験の検討 ○小松佑子, 谷和夫, 大向直樹
65	O	上総層群堆積軟岩の熱特性と高温下力学特性 岡田哲実, ○平賀健史, 高倉望, 谷和夫, 澤田昌孝, 吉川和夫
66	O	岩盤切土斜面安定に関する凍結融解の影響検討 ○高橋信之, 星野吉昇, 岡部豊二, 高橋章, 小野丘
67	O	台湾チェルンプ断層掘削から得られた更新世~中新世堆積岩の空隙分布特性 ○林為人, 高橋学, 佐東大作, 漆松雪彦, 葉恩肇, 林立虹

■『断層・亀裂』/1月12日(金) 9:30~11:30/会場:第3会場(CD会議室)/司会:岸田 潔(京都大学)

論文番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
68	O	断層変位に対する吸収層の圧縮特性を求めめるための圧縮試験方法の開発 ○玉置久也, 谷和夫
69	O	横ずれ断層変位に伴う断層上部岩盤の破壊形態に関する岩石模型実験 ○澤田昌孝, 上田圭一, 小早川博亮, 金谷守
70	O	断層運動に伴う表層岩盤の破壊形態に関する模型実験による検討 ○佐藤あすみ, 谷和夫, 澤田昌孝
71	O	個別要素法による3次元岩盤不連続面のせん断挙動に関するシミュレーション解析 ○高藤早織, 楠見晴重
72	O	亀裂に対する連続体弱層モデルとその亀裂進展解析への適用 ○小早川博亮, 京谷孝史
73	O	微視的亀裂進展を考慮したマルチスケール解析に基づく岩盤の強度予測 ○石井建樹, 京谷孝史

■『原位置試験』/1月12日(金) 15:00~17:00/会場:第3会場(CD会議室)/司会:島内 哲哉(明治コンサルタント)

論文番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
74	O	大型の岩盤円柱試験体掘削装置の掘削ビットの検討 岡田哲実, ○平野公平, 細野高康,
75	O	岩盤不攪乱試料サンプリング装置の開発 ○吉田次男, 大西有三, 西山哲
76	O	小型原位置三軸試験装置の均質な堆積軟岩地盤への適用 ○池野谷尚史, Abbas TAHERI, 金子進, 谷和夫
77	O	花崗閃緑岩基礎における無段階水押し試験の適用性検証 山口嘉一, 新家拓史, ○池澤市郎
78	O	単孔式の水理試験による透水特性パラメータの評価方法に関する研究 ○橋本秀爾, 田中達也, 安藤賢一, 竹内真司, 三枝博光, 金亨穆
79	O	孔壁ひずみ法を利用した連続三次元応力測定システムの開発 ○板本昌治, 桑原和道, 丹野剛男, 中山芳樹, 水田義明

発表形式・・・O：口頭発表，P：ポスター発表，OP：口頭発表+ポスター発表

(2) ポスター発表セッション

■ポスター掲示期間:1月11日(木) 9:30~1月12日(金)16:00

■コアタイム:1月11日(木)14:00~15:00, 1月12日(金)14:00~15:00

■会場:第4会場(EF 会議室)

論文番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
9	OP	軟岩のクリープ変形挙動に着目したトンネル模型実験 関根裕治, 八代義信, 田坂嘉章, 黒瀬浩公, ○大森剛志, 亀谷裕志
14	P	切羽ボルトの最適打設本数の決定手法に関する数値解析的検討 ○徐景源, 土門剛, 西村和夫
32	OP	不連続変形法の地震応答解析への適用に関する基礎的研究 ○赤尾悟史, 大西有三, 西山哲, 矢野隆夫, 浦野和彦, 西村毅
33	OP	岩盤斜面崩壊に起因する崩土到達範囲へのニューラルネットワーク適用に関する研究 ○金本岳人, 大西有三, 西山哲, 桑野健, 川北稔, 佐々木靖人
37	OP	精密写真測量の斜面モニタリングへの応用について ○長野洋平, 大西有三, 西山哲, 村上治, 浜崎智洋, 天野淨行
39	OP	デジタル画像計測の岩盤のり面変位計測への応用に関する研究 ○龍明治, 大西有三, 西山哲, 的羽正樹, 中川渉, 谷尚幸
56	OP	インドネシアの露天掘り石炭鉱山におけるスレーキング問題 ○大屋二郎, 笹岡孝司, 島田英樹, 一ノ瀬政友, 松井紀久男
63	OP	弾性波分散現象を用いた岩石供試体の水理特性評価に関する研究 ○宮田愛由未, 大西有三, 西山哲, 矢野隆夫, 高橋学

発表形式・・・○：口頭発表，P：ポスター発表，OP：口頭発表＋ポスター発表

注) 従来から要望が多かった「ビール片手に議論を!」との提案を受けて、初の試みとして今年度より懇親会(1/11 18:00~20:00)の時間帯にもポスター会場をオープンにすることにしました。この時間帯はポスター会場に訪れる方も多いためです。発表者は可能な限りポスター会場に控えるようお願いいたします。懇親会に参加されない方もご協力をお願いいたします。

7. 一般セッション講演要領

(1) 口頭発表要領

- ・講演会の各セッションの運営は、当該セッションの座長に一任されています。
- ・各セッションの開始時刻 5 分前に、座長と講演者の打合せを、その会場で行ないます。その際、座長より、講演順番、講演時間、討論時間などについて指示がありますので、これを遵守してください。
- ・発表時間は原則として、入退場も含めて 12 分です。12 分以内に発表が完了できるように、準備をお願いします。(発表時間 12 分に質疑応答は含まれません)
- ・発表に際しては、液晶プロジェクターを使用します。パソコンの操作は、講演者自身でお願いします。(会場担当係では対応しかねますのでご了承ください)。
- ・液晶プロジェクターとパソコンは全セッションに用意します(ポスター会場を除く)。液晶プロジェクターの持込は禁止いたします。
- ・全ての口頭発表セッションで、液晶プロジェクターによる発表となります。OHP による発表はできませんのでご注意ください。なお、差し棒・レーザーポインタは用意いたします。

1. 発表者が準備するもの

- (1) 発表者は、パワーポイントなどの発表用ファイルを保存した CD-ROM(後述する 2. で指定した OS で読み取れるフォーマット)をご持参ください。各部屋に準備されたパソコンに事前にインストールして発表していただけます。なお、ファイルサイズは 100MB 以下を厳守ください。CD-ROM 以外のメディアを持参されてもパソコンへのインストールは保障できません。USB メモリは使用できますが、パソコンへのインストールが正常にできない場合がありますので、土木学会としては保障できません。
- (2) 発表用ファイルの名前は混乱を防ぐために論文番号をファイル名としてください。
例: 論文番号.ppt (例えば、講演番号 95 の場合は、95.ppt となります。)
- (3) パソコンは会場設置のものをご利用いただき、持込パソコンの利用は原則禁止とさせていただきます。
ただし、AVI ファイルなどの動画を組み込んだ場合で、会場用パソコンを利用しての発表が不適切な場合は許可いたします。その場合は、液晶プロジェクターと切替器(サンワサプライ SE-EV4)を介して発表者各自のパソコンを接続します。切替器からは端子付きケーブル(HD(3WAY)15pin オス(インチネジ))が出ており、これを各自のパソコン端子に接続していただきます。マッキントッシュ等異種端子のパソコンをお持ちの方は、ご確認のうえ、アダプター等をご用意ください。

2. 会場で使用する液晶プロジェクターとパソコン

- (1) 今回使用するすべての液晶プロジェクターは、EPSON EMP-S1H(リアルタイム SVGA, 1400ANSI ルーメン)です。
- (2) 会場で使用するすべてのパソコンの基本仕様は次の通りです。これ以外のアプリケーションで作成された発表用資料の起動はできませんので、各自のパソコンを用意する等の対応をお願いします。
PC: NEC PC-98NX VersaPRO シリーズ
OS: Microsoft Windows XP Professional SP2
プロセッサ: インテル PentiumM 1.1 GHz
インストール済みアプリケーション: Microsoft PowerPoint 2003

3. 発表会場における発表用データのインストール

- (1) 発表者の方は、当該セッション開始前の休み時間中に、講演会場設置のパソコンに、発表用ファイルをインストールしてください。また例外的に、持込のパソコンを用いて発表をされる方はパソコン接続ならびに投影チェックを各自で実施してください。
- (2) ファイルの立ち上げ等の操作は各自の責任で行ってください。持込のパソコンの場合、画面出力の操作はパソコンの機種によって異なります。
- (3) 発表者の方は会場前方席で待機していただくとともに、スムーズな進行に協力ください。
- (4) 発表終了後に、会場担当係が責任を持ってファイルを削除します。

4. 不測の事態に備えて

- ・トラブルにより発表順が変更になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

(2) ポスター発表要領

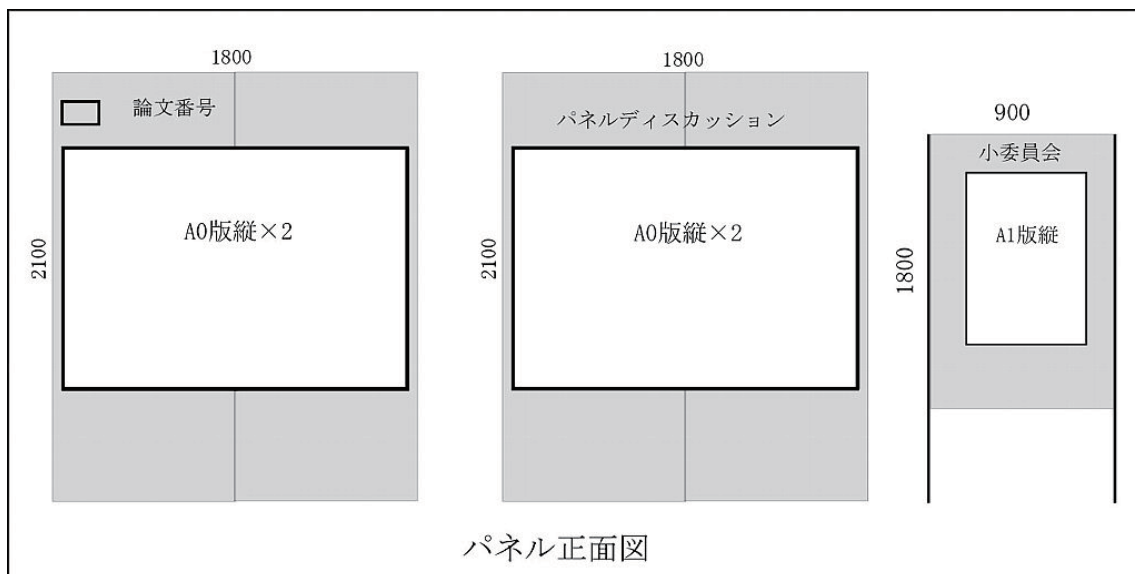
【掲示時間】

- ・ポスター会場は、土木学会E・F会議室を使用します。
- ・掲示期間は1月11日9時30分から1月12日16時までです。
- ・討議のためのコアタイムは、1月11日、12日の14時から15時です。この間、発表者はポスター会場に控えてください。
- ・優れたポスター発表者に対して表彰を行ないますので、発表者は1月12日閉会時に講堂へ集合して下さい。

なお、従来から要望の多かった「ビール片手に議論を!」との提案を受けて、初の試みとして今年度より懇親会(1/11 18:00～20:00)の時間帯にもポスター会場をOPENにすることにしました。この時間帯はポスター会場に訪れる方も多いと思われれます。発表者は可能な限りポスター会場に控えるようお願いいたします。懇親会に参加されない方もご協力をお願いいたします。

【掲示方法】

- ・スペースの左上に論文番号を掲示していますので、該当番号の下にポスターを掲示して下さい。
- ・ポスターは、A0縦(1189×841)×2枚分の範囲を使ってまとめてください。
縦、横は自由です。空きスペースは、写真や拡大図等の展示にお使いください。
フォーマットは特に取り決めませんが、文字は1m程度離れた位置から読める大きさにして下さい。
掲示の際は、事務局が提供する押しピンを用いて下さい。(テープは不可)
パソコンを使用しての展示も可能です(あらかじめ事務局までお知らせください)。コンセントは事務局で用意しますが、パソコンは発表者が持参して下さい。



8. 表彰制度

■概要	岩盤力学委員会では、昨年度より岩盤力学に関するシンポジウムにおいて表彰を行うことといたしました。表彰の対象は、シンポジウムに提出されたすべての論文です。選考は、提出された原稿、発表、ポスターにおいて、各種項目について審査を行い、受賞者を決定していきます。
■賞の種類	<p>優秀講演論文賞： 提出された原稿と発表の内容が非常に優れているものに贈られます。提出された原稿で、「応用性・実用性」、「新規性・重要性」、「完成度」、「将来性・発展性」について審査を行います。また、講演時には、「発表内容と研究の完成度」、「わかりやすさ」、「パワーポイント(あるいはポスター)の出来栄」、「質疑応答」について審査を行います。</p> <p>優秀ポスター賞： ポスターと講演内容が優れたものに贈られます。選考には、参加者の声が反映されることになります。(提出された原稿で、「応用性・実用性」、「新規性・重要性」、「完成度」、「将来性・発展性」について審査を行います。この時点で一定以上の評価を得ていることが受賞の条件になります。)</p>
■表彰式	受賞者の発表は、シンポジウムの閉会式(1月12日 17:00~17:15)で行います。受賞者には、盾と賞状が送られます。